



2017年7月31日

カタール国交断絶—トルコの新たな地政学リスク

公益財団法人 国際通貨研究所
経済調査部 研究員 潮田玲子

2017年6月5日サウジアラビア、エジプト、アラブ首長国連邦（UAE）およびバーレーンの中東4カ国が、同じイスラム教スンニ派が多数を占めるカタールとの国交断絶を発表した。サウジアラビアなどはカタールとの断交の理由について「カタールがムスリム同胞団、イスラム国、アルカイダ、イランが支援するグループなどのテロ組織に資金援助しているため」と述べ、カタールへの陸海空路を封鎖した。7月初旬には13項目にわたる関係修復のための要求書をカタールに提示した。

これに対しトルコのエルドアン大統領は、カタール封鎖は非人道的で反イスラム主義的であるとの理由からカタール側につくことを公言し、中東地域安定のためカタールへの部隊派遣を承認するとともに、制裁を受けるカタールに200もの貨物航空機により支援物資を送付した（7月12日時点）¹。その一方でサウジアラビアなどの湾岸諸国に対してカタールとの対話を求め、歩み寄るよう要請したほか、クウェートによるカタールとサウジアラビアなどの国々との間の仲介を支持した。

ただし、エルドアン大統領および所属政党の公正発展党（AKP）がカタール寄りの姿勢をとることに経済的な理由を見出すことは難しい。

例えば過去10年（2007年～2016年）の輸出入額の推移をみると、上位20カ国にサウジアラビアやUAEが常に並ぶ一方で、カタールは一度もランクインしていない。また2003年～2014年の海外からトルコへの直接投資額について、11年間で合計1,300億ドルのうちサウジアラビアは49億ドル、UAEは51億ドルにのぼったが、カタールは4億ドル（全体のわずか0.3%）にとどまった²。

トルコがカタールと親密なのは、両国政府がともにエジプトの旧モルシ政権（2012年6月当時）およびムスリム同胞団を支援してきたという仲間意識による可能性が大きい。封鎖により仮にカタールが自治を失うような事態に陥った場合、次は同じムスリム同胞団支持者のトルコにまで制裁の対象範囲が広がる可能性があることから、エルドアン大

¹ 物資送付などにより、危機勃発からわずか2週間ほどでカタール輸出額が通常比3倍の3,250万ドルを記録。

² <http://www.hurriyetdailynews.com/qatari-investments-in-turkey-an-urban-legend.aspx?PageID=238&NID=114422&NewsCatID=403>

統領はカタール側につくことでこれを食い止めたかったとみられる³。

ただこのようなエルドアン大統領の対応に、国内からは反発の声が上がっている。トルコの中立を主張する野党共和人民党（CHP）のユルマズ議員は、サウジアラビアや UAE との関係よりもムスリム同胞団とのそれを重視するのは誤りとし、トルコ中央銀行のグルテキン元総裁も、エルドアン大統領は内政と同様に外交政策に関しても感情的に行動している、と批判した。カタール寄りの外交姿勢に中立性がみられないため、国際社会における仲介者としての信頼低下を危ぶむ声もあり⁴、今回の問題に対するトルコ単独での仲裁による進展はあまり期待できないであろう。

7月20日サウジアラビアなどからカタールへの要求は13項目から6項目に削減され、トルコ政府はこれを前向きにとらえた。事態はわずかに改善したものの、不安定化した中東情勢という新たな地政学リスクに左右されるトルコ経済の先行きは、依然不透明のままである。トルコのカタール支援の見返りに、カタールにおけるトルコ企業の商機が拡大し⁵今後のトルコ経済にある程度のプラス効果をもたらす可能性がある一方で、同じくカタールを支援するイランとの関係が強まることで、反カタールかつ反イランのスタンスをとるサウジアラビア・エジプト・UAE との貿易関係⁶が悪化し、経済に打撃となるリスクもある。中東安定化に奔走するエルドアン大統領の言動に、今後も注視していく必要がある。

以上

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべて御客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

³ ウォールストリートジャーナル（6月16日－18日付）

⁴ <http://www.hurriyetdailynews.com/turkey-in-the-middle-east-from-honest-broker-to-spoiler.aspx?pageID=238&nid=115064>

⁵ 7月12日カタールのアハマド経済通商相談。

⁶ サウジアラビア・UAE・エジプトの3国に対するトルコの輸出合計額（5月分）は全体の11%を占めた。